



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月9日

上場会社名 情報企画 上場取引所 東
コード番号 3712 URL <https://www.jyohokikaku.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 勇佑
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中谷 利仁 TEL 03-3511-8371
四半期報告書提出予定日 2024年5月13日 配当支払開始予定日 2024年6月7日
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	1,729	△3.2	669	△10.7	688	△8.9	477	△7.3
2023年9月期第2四半期	1,786	—	749	—	755	—	515	—

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 477百万円 (△7.3%) 2023年9月期第2四半期 515百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	157.84	—
2023年9月期第2四半期	153.77	—

(注) 2022年9月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2023年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	6,763	5,822	86.1
2023年9月期	6,723	5,496	81.8

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 5,822百万円 2023年9月期 5,496百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	45.00	—	50.00	95.00
2024年9月期	—	50.00	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,700	4.9	1,450	2.6	1,450	3.7	980	1.6	323.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	4,090,000株	2023年9月期	4,090,000株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	1,065,054株	2023年9月期	1,065,044株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	3,024,948株	2023年9月期2Q	3,349,591株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2023年10月1日から2024年3月31日の6ヶ月間）におけるわが国経済については、一時日経平均株価がバブル経済時の最高値を更新しましたが、その後下落するなど不安定な状況になっています。

また、日本銀行がマイナス金利政策を解除したものの、円安が進んでおり金融情勢は不透明な面はありますが、景気は緩やかに回復しております。このような状況で、当社グループの主要な販売先である金融機関の業況は改善しており、当社グループの受注活動は順調に進んでおります。

業況につきましては、「システム事業」は「担保不動産評価管理システム」が大手金融機関や地方銀行中心に受注を獲得し増収となったほか、「融資稟議支援システム」も信用金庫中心に受注があり増収となっていますが、システムの開発に係る「システムインテグレーション部門」は前年同期比減収となりました。これは金融機関からのシステム導入の引き合いはあるものの、中長期的な観点から、システムの研究開発、優秀な人材の育成に特に注力したためであります。一方でシステムのメンテナンスを行う「システムサポート部門」は前年同期比増収となり、「システム事業」全体では前年同期比減収減益となっています。

「不動産賃貸事業」につきましては、2024年2月に新たに賃貸物件を購入し、賃貸収入の売上高と営業利益は前年同期比増収増益となっています。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,729,202千円（前年同期比3.2%減）、営業利益は669,208千円（同10.7%減）、経常利益は688,138千円（同8.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益477,447千円（同7.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①システム事業

「システムインテグレーション部門」

主要なシステムである「担保不動産評価管理システム」は大手金融機関や地方銀行宛てに受注が増加しており、前期比増収となっています。「融資稟議支援システム」も信用金庫や信用組合宛てに根強く販売され増収となり、「財務分析・企業評価支援システム」については、「総合決算書リーディングシステム」が地方銀行宛ての受注が増加しているほか、信用金庫向けに主にリニューアル案件が増加しています。「自己査定支援システム」は大手金融機関からの大型案件の対応を引き続き行い前期並みの売上となっています。

システムインテグレーション部門の売上高は888,302千円（前年同期比9.7%減）、セグメント内の売上高構成比は54.5%となりました。

「システムサポート部門」

メンテナンスの売上高は、例年の路線価データの納品やシステム導入が進み増収となり、システムサポート部門の売上高は740,724千円（前年同期比4.6%増）、セグメント内の売上高構成比は45.5%となりました。

以上の結果、システム事業の売上高は1,629,027千円（前年同期比3.7%減）、セグメント利益は654,138千円（同12.4%減）となりました。

②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、2024年2月に賃貸マンションを1棟購入し、賃貸マンション4棟、立体駐車場1棟、賃貸オフィス1棟及び賃貸店舗2件の計8物件を所有し展開しております。当第2四半期連結累計期間の売上高は、賃貸収入100,175千円（前年同期比5.8%増）となりました。セグメント利益は15,069千円（前年同期比456.0%増）となっておりますが、これは前期に会社分割により不動産賃貸事業を株式会社アイピーサポートに承継し、登記費用等が嵩んだためです。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、6,763,214千円となり、前連結会計年度末に比べ39,975千円増加しました。これは主に建物及び構築物（純額）が573,422千円、土地が159,779千円増加した一方で、売掛金及び契約資産が439,446千円減少したことによるものです。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、940,530千円となり、前連結会計年度末に比べ286,192千円減少しました。これは主に買掛金及びその他流動負債の減少によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、5,822,684千円となり、前連結会計年度末に比べ326,168千円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は、86.1%（前連結会計年度末は81.8%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ282,851千円減少し、2,372,782千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は672,239千円（前年同期比115.2%増）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益688,138千円の計上並びに売上債権及び契約資産の減少439,446千円により資金が増加した一方で、法人税等の支払168,067千円並びに契約負債の減少259,016千円による資金の減少があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は803,819千円（前年同期は59,647千円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出828,386千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は151,270千円（前年同期比14.9%減）となりました。これは主に配当金の支払151,239千円によるものですが、配当金支払は増加した一方で、今期は借入金返済がなかったため前年同期比減少となっています。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の景気につきましては、物価高が経済全般に及ぼす影響や金融市場の変動の懸念はありますが、安定した景気回復が見込まれると考えられます。DXが推進される中、金融機関のシステム投資意欲も十分にあり、システムのリニューアルに対する要望の増加が予想されます。そのため、研究開発によりユーザーのニーズに応じた製品を展開することで今後の受注獲得につなげたいと考えております。

2024年9月期におきましては、売上高3,700,000千円（前年同期比4.9%増）、営業利益1,450,000千円（同2.6%増）、経常利益1,450,000千円（同3.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益980,000千円（同1.6%増）と予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,655,633	2,372,782
売掛金及び契約資産	952,379	512,932
仕掛品	27,093	9,661
その他	19,380	14,899
流動資産合計	3,654,486	2,910,276
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	981,012	1,554,435
土地	1,665,888	1,825,668
その他(純額)	20,150	21,676
有形固定資産合計	2,667,051	3,401,780
無形固定資産		
のれん	71,830	65,844
顧客関連資産	12,206	11,528
その他	21,359	23,630
無形固定資産合計	105,396	101,003
投資その他の資産	296,304	350,154
固定資産合計	3,068,752	3,852,938
資産合計	6,723,238	6,763,214
負債の部		
流動負債		
買掛金	106,140	61,266
未払法人税等	184,194	240,215
賞与引当金	97,191	109,760
製品保証引当金	5,057	1,097
その他	689,907	387,313
流動負債合計	1,082,490	799,654
固定負債		
役員退職慰労引当金	58,096	53,491
その他	86,135	87,384
固定負債合計	144,232	140,875
負債合計	1,226,723	940,530
純資産の部		
株主資本		
資本金	326,625	326,625
資本剰余金	365,175	365,175
利益剰余金	6,400,935	6,727,135
自己株式	△1,596,219	△1,596,250
株主資本合計	5,496,515	5,822,684
純資産合計	5,496,515	5,822,684
負債純資産合計	6,723,238	6,763,214

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	1,786,429	1,729,202
売上原価	571,364	572,735
売上総利益	1,215,065	1,156,467
販売費及び一般管理費	465,639	487,259
営業利益	749,425	669,208
営業外収益		
受取利息	26	18
受取保険金	4,593	16,902
助成金収入	1,259	677
その他	194	1,331
営業外収益合計	6,074	18,929
営業外費用		
支払利息	280	—
その他	25	—
営業外費用合計	306	—
経常利益	755,194	688,138
税金等調整前四半期純利益	755,194	688,138
法人税、住民税及び事業税	164,906	223,834
法人税等調整額	75,214	△13,143
法人税等合計	240,120	210,690
四半期純利益	515,073	477,447
親会社株主に帰属する四半期純利益	515,073	477,447

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	515,073	477,447
四半期包括利益	515,073	477,447
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	515,073	477,447
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	755,194	688,138
減価償却費	35,610	41,712
のれん償却額	5,985	5,985
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,789	12,569
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△88	△3,959
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△250,228	△4,605
受取利息及び受取配当金	△26	△18
支払利息	280	—
受取保険金	△4,593	△16,902
助成金収入	△1,259	△677
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	220,387	439,446
棚卸資産の増減額 (△は増加)	16,892	17,432
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	3,171	5,815
仕入債務の増減額 (△は減少)	△70,127	△44,873
未払金の増減額 (△は減少)	△21,450	2,604
未払消費税等の増減額 (△は減少)	11,795	△46,849
契約負債の増減額 (△は減少)	△200,852	△259,016
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	12,894	1,404
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△1,188	1,404
小計	510,607	839,611
利息及び配当金の受取額	26	18
利息の支払額	△280	—
保険金の受取額	4,593	—
助成金の受取額	1,259	677
法人税等の支払額	△203,882	△168,067
営業活動によるキャッシュ・フロー	312,323	672,239
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,353	△828,386
無形固定資産の取得による支出	△1,535	△7,300
保険積立金の解約による収入	—	34,497
保険積立金の積立による支出	△4,863	△1,344
差入保証金の回収による収入	—	400
差入保証金の差入による支出	△32,895	△1,685
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59,647	△803,819
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△20,000	—
長期借入金の返済による支出	△7,086	—
自己株式の取得による支出	—	△31
配当金の支払額	△150,695	△151,239
財務活動によるキャッシュ・フロー	△177,781	△151,270
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	74,894	△282,851
現金及び現金同等物の期首残高	3,260,623	2,655,633
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	18,346	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,353,864	2,372,782

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額
	システム事業	不動産賃貸事業	計	
売上高				
システムインテグレーション売上	983,775	—	983,775	983,775
システムサポート売上	707,976	—	707,976	707,976
顧客との契約から生じる収益	1,691,751	—	1,691,751	1,691,751
その他の収益	—	94,677	94,677	94,677
外部顧客への売上高	1,691,751	94,677	1,786,429	1,786,429
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,691,751	94,677	1,786,429	1,786,429
セグメント利益	746,715	2,710	749,425	749,425

(注) 1. 各報告セグメントにおける利益は、営業利益を使用しております。

2. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

システム事業において、前連結会計年度に実施した株式会社ダנקの株式取得について、取得原価の配分が確定していなかったため、のれんの金額は暫定的に算出された金額でありましたが、当第2四半期連結会計期間に取得原価の配分が完了し、暫定的な会計処理が確定しております。のれんの金額は、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額を開示しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額
	システム事業	不動産賃貸事業	計	
売上高				
システムインテグレーション売上	888,302	—	888,302	888,302
システムサポート売上	740,724	—	740,724	740,724
顧客との契約から生じる収益	1,629,027	—	1,629,027	1,629,027
その他の収益	—	100,175	100,175	100,175
外部顧客への売上高	1,629,027	100,175	1,729,202	1,729,202
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,629,027	100,175	1,729,202	1,729,202
セグメント利益	654,138	15,069	669,208	669,208

(注) 1. 各報告セグメントにおける利益は、営業利益を使用しております。

2. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。